大分市報
発行所　大分市役所
編集兼発行人
大分市役所代表者
脇村幸

普及率八三・八％
全国平均を上まわる

上水道

第③次 拡張事業着々進む

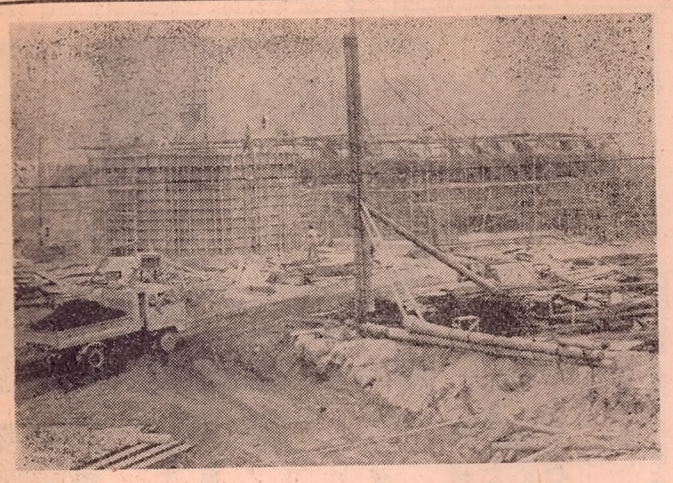
本市は臨海工業地帯として急速に発展し、昭和三十八年合併のときからこしの三月末までに人口は約二万人もふえました。この人口増に負けないよう市水道局では拡張につぐ拡張で上水道の普及率は八三・八パーセントに達し、全国平均の七二・一パーセントをはるかに越えています。

生活水準の向上で、一日一人当りの給水量は別表のとおり急増しています。これは洗濯機、ルームクーラー、水洗トイレ等の普及にともなうもので、本市の生活レベルの高さを物語るものです。が反面将来の水需要を考えると水源の確保に大きな課題を残しています。

そこで本市では、水源開発事業として第三次拡張事業を八カ年計画で昭和四十一年から始めました。

別表

年度	給水人口	1人1日平均給水量
	人	リットル
39	174,084	229
40	182,431	241
41	189,022	249
42	191,500	269
43	197,500（見込）	284（見込）



写真＝拡張工事がすすむ荏隈浄水場

将来の水道

市政の発展による将来の水需要を推定し、第三次拡張事業を一昨年から始めました。

市水道局の需給計画では、急速に伸びる配水量の増加からみて、この拡張計画が完成する昭和四十八年度末には、現在の一日当り七万六千立方メートルから約十七万立方メートルの施設能力と推定しています。もちろん一日一人当りの平均給水量もふえ、現在の一百六十九リットルから三百二十リットルを計画しています。

ことしの主な事業計画

荏隈浄水場の建設

旧大分市内と稙田地区を給水主体として現在荏隈浄水場を建設中です。この浄水場は畑中水源地から七百メートル上流にあり、四十一年度に用地買収を終え昨年十二月から着工しました。

工事完成区分は四十三年度末に一日当り三万立方メートル、翌四十四年度末には二万八千立方メートルのそれぞれ一期にわかれ、完成すれば光吉浄水場（五万立方メートル）より更に大きく五万八千立方メートルの施設能力となります。

明野団地の給水増強を計画

明野団地は四十一年から一部入居を始め、数多くの公共施設（幼稚園、小学校、中学校、バスセンター等）の建設が予定されています。近い将来には、六千五百戸、人口二万四千人のマンモス団地となります。

この地区の給水施設として、四十一年度に加圧設備をおきましたが昨年の夏に一部で減断水を生ずるなど、現在の施設能力では将来の需要に応じきれなくなりました。そこで市水道局では、明野団地に配水池の新設を計画しています。

楽しかった一日お父さん
小田の池へわらびがり

市では「母子家庭を明るくする運動」の一環として五月三日、市内の母子家庭のお母さんと子ども約五百人を小田の池に招待し、安東市長らの一日お父さんを囲んで楽しい一日をすごしました。

昨年の「一日お父さん」は海水浴でしたので今年は、五月の山へワラビ狩りと決めバス六台を借り切って小田の池に出かけました。

ところがこの日は、午前中あいにくの小雨で一時湯布院の体育館へ変更されました。体育館では、まず市関係者、各地区民生委員さんたち一日お父さん五十四人を代表して安東市長が「今日は君たちのお父さんですから、うんとあまえてください」とあいさつ。これに対してお母さんとよい子を代表して春日町の曽根嶋定代さん（五十七歳）日岡小六年の佐藤和宏君がお礼の言葉を述べました。また一日お父さんたちの元気な自己紹介に、よい子たちもニッコリ。

このあと一日お父さんを囲んでの楽しい昼食会。元気に弁当をパクつく、よい子たちを見てお母さんたちもうれしそうでした。昼食のあとお父さんたちから、たくさんお菓子をもらい宝つりをして楽しみました。一日お父さんとよい子たちが一緒に竿をもっての宝つりは、かばん、スカート、ハンドバック、ノート、ぼうしと全員が大漁で中には珍物がつりあげられ、みんなドッと笑う場面も度々でした。

午後には天気も回復したので小田の池まで足をのばし一時間ほどワラビ狩りをして楽しい一日をすごしました。

写真＝1日お父さんを囲んで楽しい食事

交通災害共済に
家族ぐるみで加入しよう

この制度は市内各層から好評をいただいています。また各事業所単位の団体加入も増えつつあります。

ところが市内の交通事故被災者の中には意外に、この制度への未加入者が多いのです。

四月一日～三十日までの統計では、市民の百四十五名が交通事故にあい、そのうち交通災害共済制度に加入している方は、僅か三十八名でした。

まだ加入してない方は、市交通安全対策室か、もよりの各支所市民課窓口に家族ぐるみでお申込みください。

身障者に地方税の控除すぐ申告を

次の方は、地方税の特別障害者控除が、うけられます。いますぐ福祉事務所へ申告してください。

1、身障者で1級と2級の方
2、精薄者で知能指数35以下の方
3、戦傷者で特別項症から第3項症までの方
4、原爆被爆者で、厚生大臣の認定をうけている方

寄付の御礼

◇香典返し寄付
中島中央二丁目　平良格殿
下判田辰口　首藤好馬殿
末広町一丁目　小形忠夫殿
中判田庄屋村　村上泰生殿
千代町二丁目　広瀬幸平殿
新川東五組　太田松太郎殿
大字宮尾　釘宮静充殿
大字舟生　岡村キクエ殿
南春日町十組　淵野九州男殿
金池町四ノ十四　野田敏夫殿
泉町十の三十八　宮尾緑老殿
金池町一丁目　菅チヨノ殿
城崎町一ノ五　豊東勇平殿

◇特別寄付
東春日町十二号望月一郎さんからミシン一台、衣類多数をいただきました。

婦人少年室の協助員きまる

四月一日、婦人や年少労働者の保護福祉を推進する婦人少年室協助員が次のように決まりました。この協助員は県婦人少年室の非常勤職員として民間の有識者に労働大臣から委嘱されるもの。市関係者は次のとおり（敬称略）○一丸敦子　中央町2丁目　○宇野熊治　中島中央1丁目　○渡辺等　中島中央3丁目　○岩本京子　上野ケ丘1丁目　○佐伯秋介　上野町　○小野本ウメ　上野丘西　○山村君子　森町　○伊達義徳　横瀬○椎原ムツヨ　宮河内　○三宮久江　小池原　○狭本正　坂ノ市

明るい家庭を築こう
市婦連　標語入りカレンダー作成

大分市地区婦人連合会は青少年を健全に育てるには、まず家庭を明るくと第三日曜日を家庭の日と決め、この推進のためにお母さんたちの「みんなできすこう明るい家庭」を合いことばに自作の標語入りカレンダーを作成しました。これは会員から募集したたくさんの標語の中から三十一点を選んだものです。

一日と二十日の交通安全の日には「いってらっしゃい気をつけてみんなで祈ろう交通安全」など交通に関係したものを、また五日と二十五日の防犯の日には「目に一度わが子に配れ目と心」と防犯的なもの、七日の健康の日には「健康でいつもにこにこあかるい家庭」十五日には老人をいたわる日として「老人をみんなでやさしく親切に」このほか「家中がおはよう笑顔のごあいさつ」「嫁姑いつも笑顔で話し合い」など家庭をあかるくと主婦の願いをこめたものばかりです。

市婦連では「日ごとに変ることばが私どものくらしの中で少しでもお役に立てば幸と思います。どうぞ明るい家庭づくりの手引としてお役立て下さい」と利用を呼びかけています。

市長さん有難う
母子家庭の母からお礼の金

五月三日に市では、母子家庭の親子を湯布院町に招待して一日お父さんの行事を行ないましたが、（別項のとおり）これに先がけて市長のもとへ、母子家庭の母親から、次のような一通の手紙が寄せられました。

「市長さん毎日ご苦労様でございます。私共親子は三年に亘り一日お父さんの行事に参加させて頂き毎回この行事をたのしみにして参りました。

子供も大変よろこびました。子供の喜ぶ姿を見れば女手一人で育てた苦労もどこへやら、お父さんのいない子供の笑顔に私も満足しました。私もとても楽しい一日であたたかい心づかいに感動し、それからは今日二円、明日は一円と経済のゆるす範囲で集めたお金です」と金一封を送ってきました。

手紙の主は大在浜の佐藤たかえさん。

佐藤さんは昭和四十一年にご主人がなくなってのち、労務者として働きながら女手一つで三人の子供を育ててきました。

ことしからは末っ子の博子さんも中学校に入り一日お父さんの行事に参加できなくなったけれどもあのときの心づかいに対し、何らかのお礼をしたいと三年間こつこつためたお金を送ってきたものです。

このお金は三日の一日お父さんの行事の費用の一部にあてられ母子家庭の皆さんから喜ばれました。

青少年センター
補導員きまる

青少年センターでは四月二十二日文化会館で、本年の補導員委嘱式と第一回の研修会を開きました新しく補導員に委嘱された方は男七十一名、女二十九名、計百名です。

安東市長が総代渡辺秀吉氏に委嘱状を交付したあと「青少年補導の徹底は小さいところまで目のとどく校区単位の協力体制が必要、補導員は社会づくりの先達として積極的な活動をしてほしい」とあいさつしました。

委嘱された補導員は次のとおり

▼金池校区　三ツ股武男　財田泰子、甲斐省道、矢野一三郎、立川輝信　▼長浜校区　高橋安雄、辛島燮子、山室寿、矢野みつ　▼荷揚校区　阿部真一、中西進、陶山好子　▼中島校区　羽田野到、嶺実、村山寒一郎、清原義光　▼住吉校区　佐藤一男、吉原敏子　▼春日町校区　是永安彦、森永節子、本条守、植木隆朗　▼大道校区　森繁敏、園田安子、森崎庄平　佐藤カヨ　▼八幡校区　姫野保子　松田公　▼神崎校区　矢野千歳、中川祐　▼南大分校区　杉崎節造　山本美智子、猪原正人、渡辺秀吉　佐藤トキエ、須藤富雄、秦静爾、▼滝尾校区　片山信雄、堤義人、佐藤絹子、野田亨、深田浩見　▼東大分校区　足立大助、竹内ミネ子、幸あやと、久枝七郎　▼日岡校区　牧茂平、牧三七、佐藤錦　▼桃園校区　堤弘視、多田政子　清水俊雄　▼津留校区　葛城イツエ、分藤美智子、池辺奈良喜、河野喜実　▼鶴崎校区　岡本元吉、石丸静子、栗林春信、田中フツエ　▼三佐校区　石崎準一、佐々木武　岡本又男　▼別保校区　利根増夫　来馬和雄　▼明治校区　二宮博文　那賀光信　▼高田校区　杉本智勝　長門文人　▼川添校区　椎原伸人　田北ハマ子　▼松岡校区　小名川五郎、加藤和美　▼大在校区　佐藤孝市、芝尾千木、河野ユク代　▼丹生校区　工藤一馬、指原勝　▼坂ノ市校区、内田明、筒井清歳　小野ハナ　▼小佐井校区　幸忠喜　実崎肇　▼下戸次校区　村上和美　▼戸次校区　藤川清、永徳文子　▼上戸次校区　橋本信男　▼吉野校区　玉衛明、安東静　▼竹中校区　後藤百代　▼河原内校区　津野富美子　▼判田校区　後藤太郎　衛藤喜代子　▼東稙田校区　麻生振武男、三宮重登　▼稙田校区　土肥喜太郎、安東猪三夫、伊達ツヤ　▼賀来校区　岐津浩、三重野善三郎（敬称略）

米1俵増収メモ
苗代

④

(1)苗代の水管理
発芽後、芽干しを終ったらできるだけ浅水にしてください。深水になると軟弱な苗になり活着力も低下します。

(2)苗代の病害虫防除
苗代の期間中に発生する病害虫の主なものは、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカ、苗イモチ病です。なかでも稲のイシユク病を伝染するツマグロヨコバイの防除が重点的になります。この害虫は苗が2～3センチ位に成長した時期から発生します。防除法は次のとおり。

◎間接防除
発芽して2センチ位のときにダイアジノン粒剤を三・三平方（一坪）あたり20グラム施用します。

◎直接防除
苗が2～3センチ位の時から5～7日ごとに3～4回、SB粉剤を散布してください。

ダイアジノン粒剤だけでは殺虫効果がなく完全防除は不可能です。この粒剤とあわせてSB粉剤を必ず併用して防除してください。

◇　◇

43年大分市納税標語
税金で伸びゆく郷土明るい家庭
碩田中3年　鷲崎敦子

ごみの完全処理へ努力

私たちの日常生活から出るごみの量は、本市の場合、毎日約百七十トン、これは小型トラックで百七十台分もの量にあたります。

市では全力をあげて衛生的なごみ処理に努めていますが、ごみの量はますますふえているのが実状です。

ごみはなぜふえる

ごみも最近は多種多様で野菜のくず、紙くず、残飯、あきかん、ビニール袋など、どこの家庭でも一週間ほおっておくとたちまちごみの山に悩まされます。

私たちはごみの被害者であると同時に製造者でもあります。このやっかいなごみは、お互いが責任をもって適切に処理されなければなりません。

ごみはなぜふえるではなぜごみは年々ふえていくのでしょうか。

第一に人口の増加があげられます。臨海工業地帯をかかえ、発展をつづける本市では、毎年人口がふえ、もうすぐ二十四万人になろうとしています。そして特別清掃地域は約三千平方キロ、二万七千世帯で、人口は十二万にのぼっています。これは全市の五〇パーセントにあたります。

第二に人口増とともに、いろいろな工場、事業所が次々と設けられそこから沢山のごみが出ます。

第三に私たちの消費生活が最近とくに向上しました。これは大変好ましいことですが、同時にごみの量もふえてきた訳です。

このような理由から、やっかいなごみの量は今後ますますふえ続けることでしょう。

完全処理へ努力

みなさんの家庭から出るごみは二十一台の收集車で、日曜、祭日を除き毎日集め、市内米良焼却場で処理し、燃えないごみは、滝尾の羽根山の谷に埋立てています。

衛生的にごみ処理をするには焼却が理想的です。現在米良焼却場の処理能力は八時間運転で六〇トンを焼却します。

将来ごみの増加に伴って二十四時間フル運転をすれば一八〇トンが焼却可能となるため、市内から出るごみの百パーセントが処理できます。

ごみはふたつき容器へ

市ではごみの定時收集をはじめてから、すでに三年たち、みなさんの理解あるご協力で、收集も軌道にのりました。なお一層、次のようなことを守って、ごみのないきれいな町づくりにご協力ください。

◎容器は必ずふたをしてください
◎容器はできるだけポリ容器に。
◎水分をもったごみはよく水を切り、ビニール袋などに入れてから容器に入れましょう。
◎ガラスやあきビン、あきカンなどの危険物や燃えないものは区別して出してください。
◎收集後からになった容器は、できるだけ早く持ち帰ってください。風に飛ばされたり、見苦しいものです。

定時收集への切替えにご協力を

定時收集とは、あらかじめ收集する日時、場所を決め祝祭日を除いて必ず收集するものです。（週1回・週2回がある）そのため容器は持運びのできるポリ容器または石炭箱などに限ります。

今後次々にこの定時收集方式へ切替える予定ですのでご協力をお願いします。

「ごみ」を焼きます

一日に〇・二立方メートル（石炭箱約2はい）以上のごみを出す事業所、会社、病院、その他のところは直接滝尾米良焼却場へ搬入してください。一トン車未満一台で20円、二トン車未満50円、三トン以上80円で焼却します。

ごみ容器には必ず「マーク」を

ごみ收集申込み家庭のごみ容器には市のマークをつけることになっています。ごみ收集の申込みをしている家庭で、容器にマークのないもの、または消えているという方は、市清掃第一課にご連絡ください。直ちに係員がまいりマークを押します。

なおこのマークがないと收集をしないことがあります。

ごみを捨てないで

最近、大分川やその他の河川、空地などにごみを捨てる方があります。このような行為は清掃法で処罰されます。

お互いに不法投棄は注意しあい清潔な町づくりにご協力ください。

くらしのメモ ⑥

ハム・ソーセージ

よい品の見分け方
- JASマークがついている
- 製造年月日を明示してある
- 製造者名や販売者名を明記してある。
- 内容量を表示してある。
- 指先で押すと弾力がある。
- 包装にはりがあり、肉との間に水分や空気がはいっていないこと。

種類と主原料

骨つきハム…豚のもも肉を骨つきのまま加工したもの。
ロースハム…豚の背肉を加工したもの。
ボーンレスハム…豚のもも肉を一カ月以上かけて加工。
ベーコン…豚の腹肉を加工したもの。
プレスハム…豚肉に牛、馬、羊などの肉をミックスして加工したもの。
ウインナーソーセージ…牛、豚肉などを加工し羊の腸につめたもの
フランクフルトソーセージ…豚の腸につめたもの。
サラミソーセージ…牛、豚肉に豚の脂肪を加えて加工したもの。
ボークソーセージ…豚肉を主原料としたもの。
魚肉ハム…魚肉を51パーセント以上まぜて加工。
混合ソーセージ…各種の肉に魚肉をまぜて加工する。
魚肉ソーセージ…魚肉を主原料としたもの。

保存期間

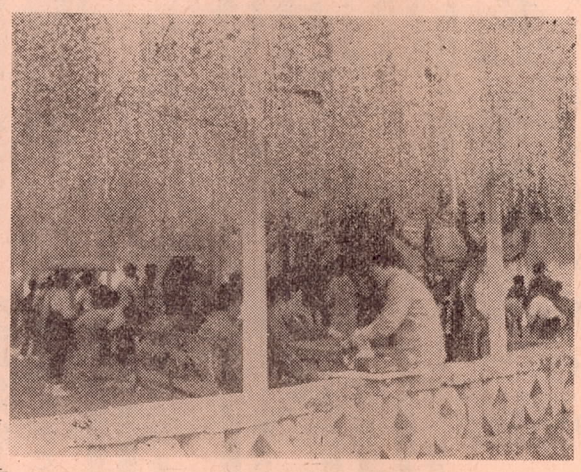
包装したままの保存期間は大体次のとおりですが、同じハムでも銘柄や保存温度などでいくらか違ってきます。
ロース・ボーンレスハム…冬4週間夏1～2週間。
ウインナー、フランクフルトソーセージ…冬5～7日、夏2～3日

製造年月日の読み方

1967年 2月19日

交通安全標語　いそがば廻れ　歩道橋

西寒多神社の藤まつり



写真＝参拝客でにぎわった藤まつり

五月三日　植田地区、西寒多神社の藤まつりが行なわれ、市観光課長や地元の関係者が参列して、神事を行ない玉串を捧げました。

この神社は昔から五穀豊じょうの神様として広く知られていますが境内に樹令数百年といわれる藤の大木があるところから、藤まつりとしても有名です。

参拝客たちは藤棚の下で、長いうす紫の花房を観賞していましたあいにくとお昼前から雨が落ち始め、傘をさしての花見になり、せっかくの行楽日もさっぱりといったところでした。

植田地区

今月の納税

固定資産税	第一期分
国民健康保険税	第一期分
軽自動車税	全期分

公選法一部改正　名簿登録年四回に

今まで永久選挙人名簿の登録申出は三月一日、九月一日までの年二回でしたが、公職選挙法の一部改正で、三月、六月、九月、十二月のそれぞれ一日まで年四回登録申出ができることになりました。

つまり三月に登録もれの人や、昭和二十三年六月二日までに生まれ引続き本市に三カ月以上住んでいる新有権者は、さっそくこの六月に登録できる訳です。

該当する方は六月一日までに市選挙管理委員会または各支所市民課窓口で至急登録をすませてください。（用紙は同窓口に用意、印鑑持参のこと）

大分市の人口

43.4.1	現在
人口	236.812
男	113.265
女	123.547
世帯数	57.104
戸数	50 047

お知らせ

白鳥の赤ちゃん

城址公園のお堀にかわいい白鳥の赤ちゃんが6羽生まれました。

こんどこそ死なせずに育てようと係員がつきっきりで慎重に世話をしています。

自治委員区域が新しくできる

滝尾校区内に新しく自治委員区域、長谷（ながたに）住宅ができました。第1回入居者（48世帯）が一段落するまで暫定的に次の方が自治委員となります。

自治委員　堀　善孝氏

母子世帯に通勤定期の割引

母子世帯に国鉄定期が割引きされます。対象は、母子、準母子年金、児童扶養手当などを受けている世帯です。希望者は市社会課または各支所担当係に申込んでください。

◎申込みに必要なもの
①母子年金証書または準母子年金証書②児童扶養手当証書③写真④印鑑

各種相談に応じます

市では専従の相談員をおいていろいろな相談ごとに応じています。気がるにご利用ください

▼婦人相談

婦人の保護、更生などの相談

毎週月、木、土曜に本庁2階の社会課内相談室で開いています

また第3火曜は鶴崎、第1水曜は大在、第2水曜は植田、第3水曜は大南、第4水曜は坂ノ市の各支所に出向いて相談に応じます。

▼母子相談

本庁と鶴崎支所に各1名の相談員が常勤し、本庁と鶴崎支所で月、火、木、金曜に開きます

第1水曜は大在、第4水曜は坂ノ市、第2水曜は植田、第3水曜は大南の各支所に出むきます

▼結婚相談

金池町中央公民館内相談所で月、水、金（前9時～後3時）火、土（午前中）に開きます。

▼心配ごと相談

毎週水曜に、社会課内心配ごと相談所で開きます。

市営住宅補充入居者を募集

市営住宅の補充入居者を募集します。希望者は6月10日から22日までに市建築課住宅係または各支所事業課へ申込んでください。

駄ノ原区画整理　縦覧を

駄ノ原土地区画整理審議会委員の任期がことしの8月で満了となるので、次のとおり選挙人名簿の縦覧を行ないます。

▼名簿の縦覧
6月11日～24日まで　午前8時半から午後5時（日曜、祭日を含む）

▼場所　市役所区画整理課

▼選挙期日　8月11日

借地権の届出

地区内に土地を借りている人は6月5日までに区画整理課へ届出てください。（用紙は同課に準備）

（区画整理課）

選挙人名簿を縦覧

整理審議会委員の任期がことしの8月で満了となるので、次のとおり選挙人名簿の縦覧を行ないます。

▼名簿の縦覧
6月11日～24日まで　午前8時半から午後5時（日曜、祭日を含む）

▼場所　市役所区画整理課

▼選挙期日　8月11日

借地権の届出

地区内に土地を借りている人は6月5日までに区画整理課へ届出てください。（用紙は同課に準備）

（区画整理課）

アパートの補欠入居者を募集

中島団地（K20アパート）と大空団地（K10アパート）の補欠入居者を募集しています。希望者は5月30日までに県住宅供給公社④7350へ申しこんでください。（県住宅供給公社）

京都学生寮入寮生を募集

県奨学会で京都学生寮の入寮生（男子大学生）を百名募集しています。希望者は▼入寮申込書　▼戸籍抄本　▼大学在学証明書　▼学長の推選書　▼写真をそえて大手町3丁目　県庁総務部文書学事課へ申込んでください。（〆切・5月末）

転居届を郵便局へ

転勤などで住所を変更したときは、郵便物が早く確実に届くために転居届を郵便局へも提出してください。用紙はもよりの郵便局か市役所市民課窓口に用意してあります。

（郵便局）

郷土研究講座を開きます

郷土に関する知識をあらたにし、郷土の歴史に対する理解と関心を深めるために、「郷土研究講座」を開きます。

●とき　5月22日　13時～15時
●ところ　県立図書館
●講師と演題、別府大学助教授今永清二氏、「大正時代県下における小作争議」
入場料無料　（県立図書館）

差押え物品を公売します

市税滞納による差押え財産を次のとおり公売します。希望者は入札にご参加ください。公売当日までに市税が完納された場合は公売を取り消します。

一、日時　5月20日午前10時
二、場所　市役所納税課
三、公売の方法　一般競争入札
四、公売財産　ミシン、テレビ、丸火鉢、鏡台

5月のアルコウ会

50回記念のつどいと山香町の史跡を探る

▼50回を喜びあうつどい
とき　5月26日午前8時
ところ　大手公園
物故会員慰霊式、会員表彰

▼山香町の史跡を探る
とき　5月26日午前9時、大手公園を貸切バスで出発。
コース　山香町山浦～泉福寺、石風呂～辻小野の仏像～小武寺グリカラ不動～大分帰着。
会費　実費。

参加希望者は5月23日までに立川輝信（④2558）または藤井書房（②7009）へ申込んでください。

交通安全旗をかかげよう

交通安全意識の高揚と徹底を期するため、各事業所の屋上に交通安全旗の掲揚をおすすめします。

〇規格と価格　たて90センチ、よこ1メートル50センチ、5百円

〇希望者は5月末日までに市交通安全対策室へ申込んでください。

5月のテレビ放送

「市民の広場」　大分市制作
5月26日午前7時30分から10分間
OBS　5チャンネル
”今月の話題”